

PHILIPS

Soundbar

5000シリーズ

TAB5706



取扱説明書

当社が提供するサポートを最大限にご利用いただくために、製品を www.philips.com/support へご登録ください。

目次

1 重要事項	3	4 サウンドバーを使用	12
安全上の注意	3	電源のオンとオフ	12
製品への配慮	4	ソースを選択	12
環境への配慮	4	イコライザー (EQ) エフェクトの選択	12
コンプライアンス	5	音量調節	13
ヘルプとサポート	5	ファクトリーリセット	13
		Bluetooth操作方法	14
		USB操作方法	15
		AUX / OPTICAL / HDMI ARC 操作	15
2 サウンドバー	5	5 製品仕様書	16
パッケージ内容	5		
本体	6	6 トラブルシューティング	17
コネクタ	6	商標:	18
リモコン	7		
リモコン準備	7		
配置	8		
壁掛け	9		
3 接続	10		
HDMIソケットへの接続	10		
オプティカルソケットへの接続	10		
AUXソケットへの接続	11		
電源へ接続	11		

1 重要事項

本製品のご使用になる前に、取扱い方法について必ずご確認ください。本取扱説明書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、保証は適用されません。

安全上の注意

感電や火災のリスク！

- ・ 接続の変更を行う前に、全てのデバイスが電源コンセントから取り外されていることを確認してください。
- ・ 本製品や付属品を、雨や水にさらさないようにしてください。本製品の近くには、花瓶などの液体容器を置かないでください。もし本製品に液体がこぼれた場合は、直ちに電源コンセントから製品を取り外してください。ご使用前には、製品の状態を確認するためにお客さまサポートへのご連絡をお願いします。
- ・ 本製品や付属品を直射日光を含む裸火、その他熱源の付近には置かないでください。
- ・ 本製品の換気口や他の開口部に、異物を決して入れないでください。
- ・ 電源プラグもしくは電源接続器が切断装置として使用される場合、切断装置は容易に作動できる状態のものとします。
- ・ バッテリー（バッテリーパックや取り付けられたバッテリー）は日光や火など、過度の熱にさらさないようにしてください。
- ・ 雷雨の前には、本製品を電源コンセントから外してください。
- ・ 電源コードを外す際は、ケーブルではなく常に電源プラグを持って抜いてください。
- ・ この製品は、熱帯および/または中程度の気候で使用してください。

電気ショートや火災のリスク！

- ・ 識別と供給割合については、製品の下部もしくは裏面にあるタイププレートをご参照ください。
- ・ 電源コンセントに製品を接続する前に、電源電圧が、本製品の下部もしくは裏面に記載されている電圧に一致していることをご確認ください。もし電圧が異なる場合は、製品を電源コンセントに接続しないでください。

本製品のケガや破損のリスク！

- ・ 壁に設置をするには、取扱説明書に従って、本製品を確実に壁面に取り付ける必要があります。付属の壁掛けブラケットのみご使用ください。（可能な場合）壁への取り付けを誤ると、事故、ケガまたは破損となるおそれがあります。ご不明な点がある場合は、お住いの国のお客様サポートまでご連絡をお願い致します。
- ・ 本製品や何か物を電源コードや他の電化製品の上に置かないでください。
- ・ 本製品を5度以下で輸送する場合は、電源コンセントにつなぐ前に、製品を開梱し、製品が室温と同じ温度になるまでお待ちください。
- ・ 本製品はガラス製のものが一部あります。ケガ、破損のないよう取り扱いにはご注意ください。

オーバーヒートのリスク！

- ・ 狭い場所では本製品を設置しないでください。換気のために、製品の周囲は少なくとも10センチ以上のスペースの開きを常に確保してください。カーテンや他の物が製品の換気口を覆うことがないようにしてください。

汚染のリスク！

- ・ バッテリー（古いものと新しいもの、または炭素電池とアルカリ電池等）を混ぜないでください。
- ・ 注意：電池交換を誤ると爆発の危険があります。同じものか同等タイプのもののみと交換してください。

- ・ バッテリーが使用済みとなった場合やリモコンを長期間で使用しない場合はバッテリーを取り外しておいてください。
- ・ バッテリーは化学物質を含むため、適切に廃棄する必要があります。

バッテリーの飲み込みのリスク！

- ・ 本製品とリモコンはコインやボタンタイプのバッテリーを含んでいる可能性があります。誤飲の恐れがあります。電池は常にお子様の手が届かないように保管してください。飲み込んだ際は、重傷となる場合や死亡する恐れもあります。摂取の2時間以内に重篤な内部火傷が生じる可能性があります。
- ・ お客さまが体内にバッテリーを飲み込んだ恐れがある場合、直ちに医療機関にて受診してください。
- ・ 電池交換の際は、常に新しいバッテリーと使用済みバッテリーがお子様の手が届かないようにしてください。バッテリーを交換後に、バッテリーケースが完全に固定されていることを確認してください。
- ・ バッテリーケースが完全に固定出来ない場合、製品のご使用をお控えください。お子様の手の届かない場所に保管し、製造業者にご連絡をお願い致します。



本製品は二重絶縁のCLASS IIの装置であり、保護アースは供給されていません。



AC電圧



取扱説明書の指示に従ってください！



警告！
警告：感電のリスク！



エクスクラメーションマーク(!)は、使用者にとって重要な操作指示についての警告を意味しています。

製品への配慮

本製品の清掃はマイクロファイバークロスのみをご使用ください。

環境への配慮

古くなった製品とバッテリーの廃棄



ご使用の機器は、純度の高い素材と材料を使用してデザインおよび製造されたもので、リサイクルと再利用が可能です。



製品上のこのシンボルは、本製品が欧州指針2012/19/EUの対象であることを意味しています。



このシンボルは、本製品に欧州指針2013/56/EUが適用される電池が含まれており、一般の家庭ゴミと一緒に捨てることは出来ないことを示しています。

お住いの地域での電気・電子製品・電池の分別収集ルールをご確認ください。地域のルールに従って、通常のごみと一緒に本製品やバッテリーを廃棄しないようお願い致します。適切な分別回収は、環境や人体の健康に及ぼす影響の低減に繋がります。

使用済みバッテリーの取り外し

使用済みバッテリーを取り外すために、バッテリー取り付けの項目をご確認ください。

コンプライアンス

欧州共同体の無線干渉の要件に準拠しています。

これにより、TP Vision Europe B.V.は、本製品が指令2014/53/EUの必須要件およびその他の関連規定に適合していることを宣言しています。

www.p4c.philips.comで法令順守宣言を確認することができます。

ヘルプとサポート

広範囲なサポートについては
www.philips.com/supportをご覧ください。

- ・ 取扱説明書とクイックスタートガイドのダウンロード
- ・ ビデオチュートリアル視聴（選択したモデルのみ可能）
- ・ よくある質問への回答を検索（FAQs）
- ・ メールで質問をする
- ・ 当社サポート担当とチャット

ウェブサイト上の指示に従って、お客様の言語を選択し製品のモデルナンバーを入力してください。

あるいは、お住いの国のお客様サポートにお問い合わせください。お問い合わせの前に、製品のモデルナンバーとシリアルナンバーをメモのご用意をお願い致します。製品の裏面もしくは下部にこの情報があります。

2 サウンドバー

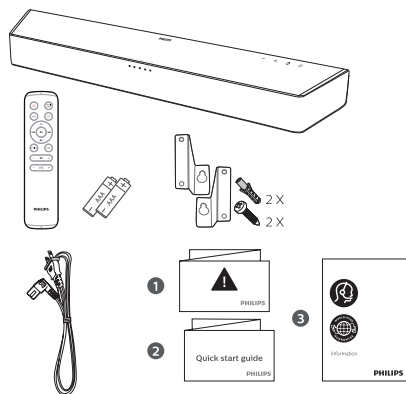
Philips 製品をご購入いただきありがとうございます。当社が提供するサポートを最大限にご利用いただくために

www.philips.com/support でお客様のサウンドバーをご登録ください。

パッケージ内容

本パッケージの商品をご確認ください。

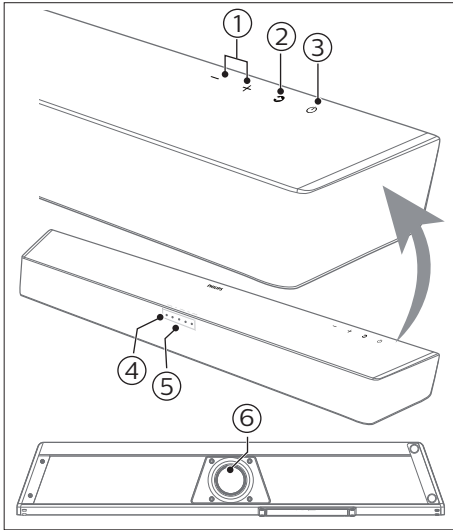
- ・ サウンドバー x 1
- ・ リモコン x 1
- ・ AAA バッテリー x 2
- ・ 電源コード * x 1
- ・ 壁掛けキット x 1
(壁取り付けブラケット × 2 ネジ × 2 クギ × 2)
- ・ 安全シート/クイックスタートガイド
保証書 x 1



- * 付属の商品とイメージは地域によって異なる場合があります。
- ・ 本取扱説明書にあるイメージ、イラストと図面は参照用であり、実際の製品と異なる場合があります。
- * 付属の電源ケーブルは本製品専用になります。他の製品にはご使用できません。

本体

このセクションでは本体の概要について説明します。



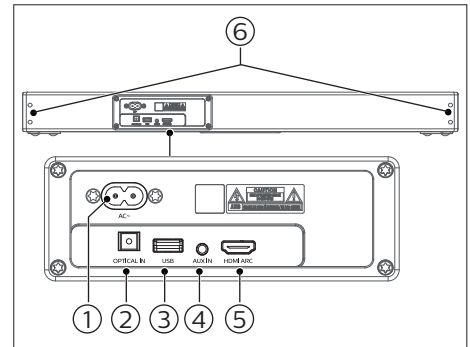
- 1 +/- (音量)**
音量の上下
- 2 (ソース)**
サウンドバーの入力ソースを選択
- 3 (スタンバイオン)**
サウンドバーをオンもしくはスタンバイに切替
- 4 サウンドバーのLEDインジケータ**
プレイバックソースを切替えると、フロントインジケータが点灯します。本体正面のインジケータライトは現在使用中のモードが表示されます。

ステータス	LED状態
AUX	[AUX/USB] 完全な 白色
USB	[AUX/USB] 白色の点滅
スタンバイ	[スタンバイ] 完全な 赤色
BT (Bluetooth) ・接続済み ・接続	[BT] 完全な 白色 [BT] 白色の点滅
OPTICAL	[OPTICAL] 完全な 白色
HDMI ARC	[HDMI ARC] 完全な 白色

- リモコンセンサー
- 内臓サブウーファー

コネクター

このセクションでは、サウンドバーで使用できるコネクターの概要について説明します。



- 1 AC~**
電源装置に接続
- 2 OPTICAL IN**
テレビやデジタルデバイスのオプティカルオーディオ出力に接続
- 3 USB**
 - USBストレージデバイスからオーディオ入力
- 4 AUX IN**
例) MP3プレーヤーからのオーディオ入力 ((3.5mm ジャック)。
- 5 HDMI ARC**
ポートは HDMI ARC機能をサポートし、テレビの HDMI ARCへ接続します。
- 6 壁取り付けブラケットネジ**

リモコン

このセクションではリモコンの概要について説明します。

1 ㊦ (スタンバイオン)

サウンドバーをオンもしくはスタンバイに切替

2 ソースボタン

AUX: オーディオソースをAUX接続に切替 (3.5mmジャック)。

BT / Pair: Bluetoothモードに切替

Bluetoothモードのペアリング機能をアクティブにするために押し続けるか、既存のペアリング済みのBluetooth デバイスを外します。

HDMI ARC: ソースをHDMI ARC接続に切替

OPTICAL: オーディオソースをオプティカル接続に切替

USB: USBモードに切替

3 ㊦ +/- (サウンドバーの音量)

サウンドバーの音量の上げ/下げ

4 EQ

イコライザ(EQ) エフェクトの選択

5 ㊦ / ㊦ (前へ/次へ)

USB/BT モードで前のトラックや次のトラックへスキップ

6 ㊦ (再生/一時停止)

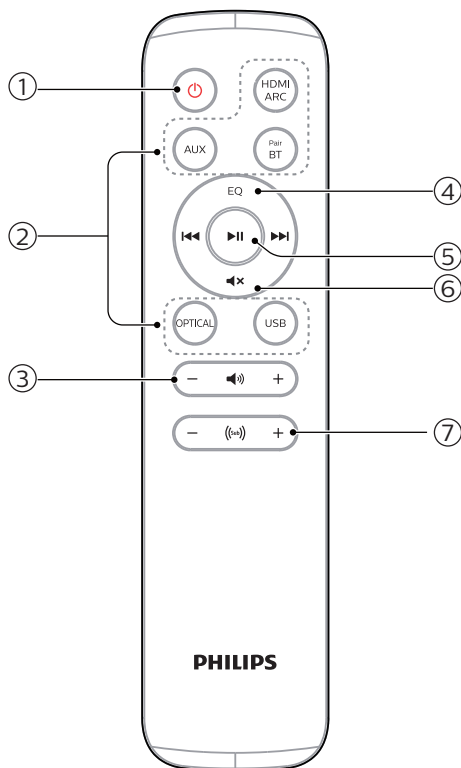
USB/BTモードで再生、一時停止、元に戻す

7 ㊦ (消音)

消音もしくは音量を元に戻す

8 ㊦ +/- (サブウーファアの音量)

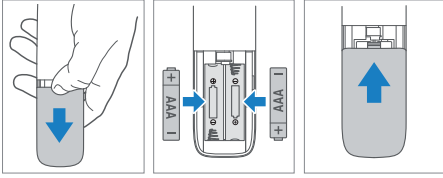
内臓サブウーファアの音量の上げ/下げ



リモコン準備

- ・ 付属のリモコンで本体の遠隔操作が可能です。
- ・ 有効な範囲の19.7フィート (6m) 以内でリモコンを操作したとしても、本体とリモコンの間に障害物があると、リモコン操作ができない場を合があります。
- ・ 本リモコンを赤外線を発生させる他の製品の近くで操作したり、赤外線を使用した他のリモコンデバイスを本体近くで操作すると、正常に動作しない可能性があります。反対に、他の製品が適切に動作しない可能性もあります。

リモコンのバッテリー交換



- 1 裏面のカバーを押してスライドさせ、リモコンのバッテリーケースを開きます。
- 2 AAA サイズの二つのバッテリー（付属の）を入れてください。バッテリーの (+) と (-) をご確認ください、バッテリーケース内記載の (+) と (-) に合わせてください。
- 3 バッテリーケースのカバーを閉じます。

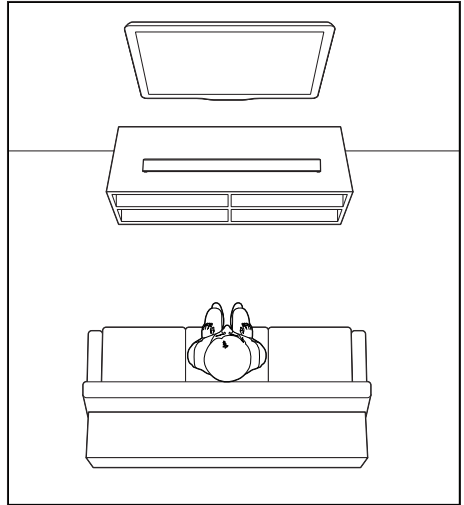
バッテリーに関する安全上の注意

- ・ “⊕”プラスと“⊖”マイナスの極性のバッテリーが正しく入っていることをご確認ください。
- ・ 同じタイプのバッテリーをご使用ください。異なるタイプのバッテリーのご使用は絶対に控えてください。
- ・ 充電式バッテリーと非充電式バッテリーのご使用が可能です。ラベルの注意事項を参照ください。
- ・ バッテリーカバーやバッテリーを外す際は、爪にご注意ください。
- ・ リモコンを落とさないようにしてください。
- ・ リモコンに衝撃を与えないようにしてください。
- ・ リモコンに水や液体をこぼさないようご注意ください。
- ・ リモコンを湿った物の上に置かないようにしてください。
- ・ リモコンを直射日光や高温になる場所には置かないようにしてください。
- ・ リモコンを長期間使用しない場合は、バッテリーの腐食や漏液により、ケガや物の破損、火災の原因となりますので、リモコンから電池を取り外してください。

- ・ 指定されていないバッテリーのご使用はお控えください。
- ・ 新しいバッテリーと古いものを一緒にしないでください。
- ・ 充電式と確認が出来ないバッテリーには充電をしないでください。

配置

最適な状態のために、サウンドバーを下記のように配置してください。

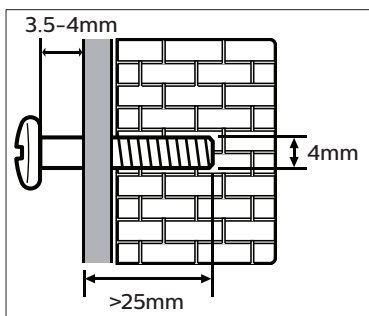


壁掛け

注

- ・ 壁への取り付けを誤ると、事故、ケガまたは破損となるおそれがあります。ご不明な点がある場合は、お住いの国のお客様サポートまでご連絡をお願い致します。
- ・ サウンドバーを壁への取り付けの前に、壁がサウンドバーの重さを支えられる状態をご確認ください。
- ・ 壁への取り付けの前に、サウンドバーの下部にあるゴム製の足を取り外す必要はありません、外した後はゴム製の足を元に戻せなくなります。
- ・ サウンドバーを取り付ける壁のタイプに応じて、適切な長さや直径があるネジをご使用ください。
- ・ サウンドバーの裏面にある USB ポートが USB デバイスに接続されているかどうかをご確認ください。接続されている USB デバイスが壁掛けに影響があることを見つけたら、適切なサイズの他の USB デバイスを使用する必要があります。

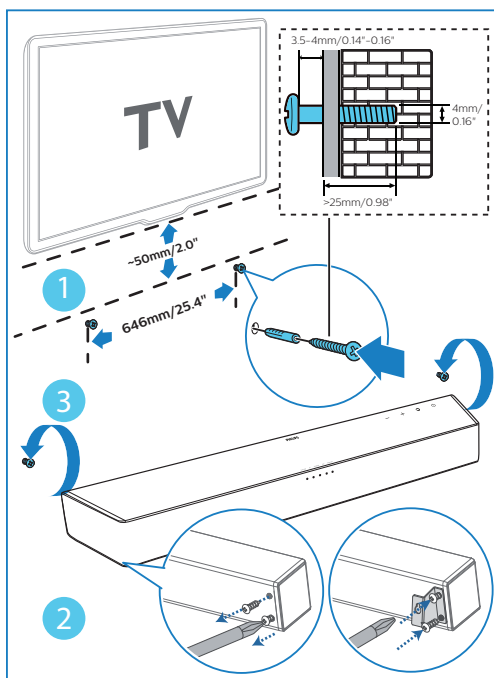
ネジの長さ/直径



壁への取り付けの推奨される高さ

サウンドバーを壁に取り付ける前に、始めにテレビを取り付けることをお勧めします。テレビがプレインストールされている場合は、サウンドバーをテレビの底面から50 mm/2.0 離して壁に取り付けてください。

- 1 壁面に平行な穴を2つ(壁の種類によって、直径3から8 mm) あけます。穴の間隔は、646 mm/25.4 にしてください。
↳ 穴に合わせクギとネジを穴に固定します。
- 2 本体からネジ(×4)を外します。
↳ 本体から取り外したネジでウォールブラケット(×2)を、本体に取り付けます。
- 3 サウンドバーを固定ネジに取り付けます。



3 接続

このセクションでは、サウンドバーをテレビや他のデバイスに接続して、設定する方法について説明します。

サウンドバーとアクセサリの基本的な接続方法については、クイックスタートガイドをご参照ください。

注

- ・ 識別と供給割合については、製品の下部もしくは裏面にあるタイププレートをご参照ください。
- ・ 接続の変更を行う前に、全てのデバイスが電源コンセントから取り外されていることを確認してください。

- ・ テレビの **HDMI ARC** コネクタは、異なって表示される場合があります。詳細は、テレビの取扱説明書をご参照ください。

- 2 ハイスピードHDMIケーブルを使用して、サウンドバーの **HDMI ARC** コネクタをテレビの **HDMI ARC** コネクタに接続してください。

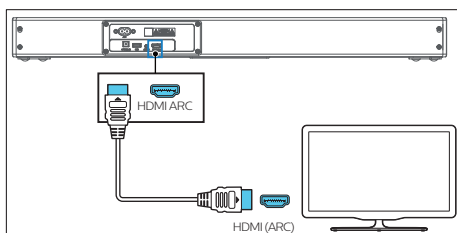
注

- ・ お客さまのテレビがHDMI-CECとARC機能をサポートしている必要があります。HDMI-CECとARCをオンに設定する必要があります。
- ・ HDMI-CECとARCの設定方法は、テレビによって異なる場合があります。ARC機能について詳しくは、テレビの取扱説明書をご参照ください。
- ・ HDMIケーブルがARC機能をサポートしていることをご確認ください。

HDMIソケットへの接続

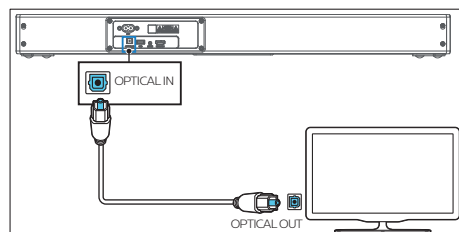
ARC(オーディオ・リターン・チャンネル)

サウンドバーは、オーディオ・リターン・チャンネル(ARC)を伴ったHDMIに対応しています。お客さまのテレビがHDMI ARC 準拠の場合、一本のHDMIケーブルを使用してサウンドバーからテレビのオーディオを聞くことが可能です。



- 1 テレビのHDMI-CEC操作をオンにします。詳細は、テレビの取扱説明書をご参照ください。

オプティカルソケットへの接続

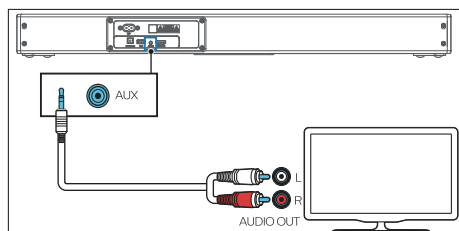
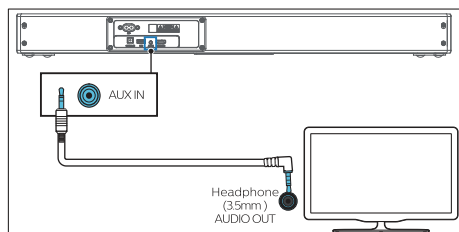


- 1 <オプティカルケーブルを使って、サウンドバーの **OPTICAL** 端子をテレビや他デバイスの **OPTICAL OUT** 端子に接続します。
 - ・ デジタルオプティカルコネクタには、**SPDIF** または **SPDIF OUT** と記載されている場合があります。

AUXソケットへの接続

a. 3.5mm から 3.5mm のオーディオケーブルをご使用ください。

- 3.5 mmから3.5 mmのオーディオケーブル(付属していません)を使用して、テレビのヘッドフォンソケットを本体のAUXソケットに接続します。



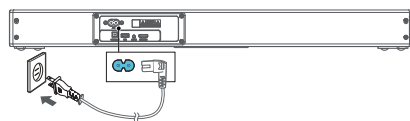
b. 3.5mmまでのオーディオケーブルRCAをご使用ください。

- 3.5 mmまでのオーディオケーブル(付属していません)RCAを使用して、テレビのヘッドフォンソケットを本体のAUXソケットに接続します。

電源へ接続

- AC電源コードを接続する前に、他のすべての接続が完了していることをご確認ください。
- 製品破損のリスク!電源電圧が、本体の裏面または底面に印刷されている電圧に対応していることをご確認ください。

- 電源ケーブルを装置のAC~ソケットに接続し、電源コンセントに差し込みます。



- * 電源コードの本数やプラグのタイプは地域によって異なります。


4 サウンドバーを使用

このセクションでは、お客さまがサウンドバーを使って、接続されているデバイスからオーディオの再生することをサポートします。

始める前に、

- ・ クイックスタートガイドと取扱説明書に記載の必要な接続を行います。
- ・ サウンドバーを他のデバイスのための適切なソースに切替えます。

電源のオンとオフ

- ・ 装置を最初にメインソケットに接続すると、スタンバイモードになります。スタンバイインジケータが点灯します。
- ・ リモコンまたは本体にある  ボタンを押して、本体のオン/オフを切替えます。
- ・ 完全に本体の電源を切る際は、メインソケットからメインプラグを抜いてください。

オートスタンバイ

テレビや外部機器の電源を切ると、約15分後に自動的にスタンバイモードになります。

- ・ 本体の電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ ご使用にならない際は、電源を完全に切って節電してください。

ソースを選択

- 1 本体の  ボタンを繰り返し押すか、リモコンの **AUX**, **OPTICAL**, **HDMI ARC**, **BT/Pair**, **USB** ボタンを押して、ご希望のモードを選択します。
↳ サウンドバーのインジケータライトは現在使用中のモードが表示されます。

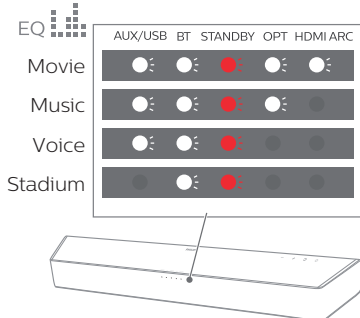
ステータス	LED状態
AUX	[AUX/USB] 完全な白色
USB	[AUX/USB] 白色の点滅
スタンバイ	[スタンバイ] 完全な赤色
BT (Bluetooth) ・ 接続済み ・ 接続	[BT] 完全な白色 [BT] 白色の点滅
OPTICAL	[OPTICAL] 完全な白色
HDMI ARC	[HDMI ARC] 完全な白色

イコライザー (EQ) エフェクトの選択

ビデオや音楽に合わせて、規定のサウンドモードを選択します。

- 1 リモコンの **EQ** ボタンを押して、ご希望のプリセットイコライザエフェクトを選びます。
↳ LEDが3秒間点滅し、EQモードの定義に従って、現在のEQモードを示します (図)。
 - ・ **映画** (5つのLEDが点滅) : サラウンドリスニングの体感を作り出します。映画鑑賞に理想的
 - ・ **音楽** (4つのLEDが点滅) : 2チャンネルまたはマルチチャンネルステレオサウンドを作ります。音楽鑑賞に理想的
 - ・ **ボイス** (3つのLEDが点滅) : 人の声をより明瞭にし、聞き取りやすい優れた効果音を作り出す。

- ・ **スタジアム** (2つの LED が点滅) : スタジアムでスポーツ観戦するような雰囲気を出します。

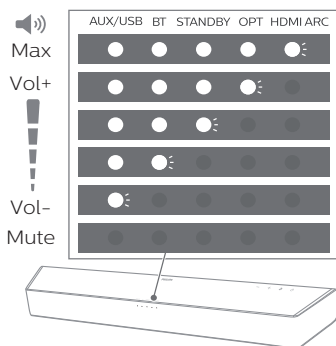


音量調節

サウンドバーとサブウーファーの音量を調節すると、ステータスインジケータが光の量を増減させます。対応するライトの表示/点滅に従って、サウンドバーとサブウーファーの現在の音量レベルを決定します。

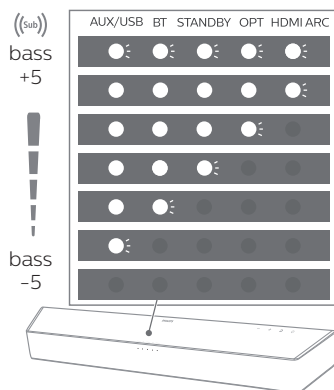
サウンドバーの音量調節

- 1 +/- (音量) を押して サウンドバーの音量レベルを上下させます。
 - ・ 消音にするには、 (ミュート) を押してください。
 - ・ 音を元に戻すには、再び (ミュート) を押すか **Vol+ / Vol-** (音量) を押してください。



内蔵サブウーファーの音量を調節する

- 1 内蔵サブウーファーのボリュームを上下するには、+/- (サブウーファー) を 押します。



ファクトリーリセット

デバイスをリセットし、デフォルト設定にします。

- 1 スタンバイ状態で8秒間、音量キーを押し続けると、サウンドバーはファクトリーリセットモードになります。
 - ↳ すべてのLEDが5秒間点灯し、それからサウンドバーはスタンバイ状態になります。
 - ↳ 音量は10にリセットされ、EQモードはMOVIEに、BT履歴リストは消去され、ソースはARCにリセットされます。

Bluetooth操作方法

Bluetoothを通じて、サウンドバーをBluetoothデバイス (iPad、iPhone、iPod touch、Android電話、ラップトップなど) に接続すると、デバイスに保存されているオーディオファイルをサウンドバーのスピーカーから聞くことができます。

お客さまに必要なもの

- BluetoothプロファイルA2DP、AVRCP、Bluetoothバージョン4.2+EDRをサポートするBluetoothデバイス。
- サウンドバーとBluetoothデバイス間の最大の動作範囲は約10メートル (30フィート) です。

1 本体の  ボタンを繰り返し押すか、リモコンの **BT/Pair** ボタンを押して、サウンドバーをBluetoothモードに切替えます。

↳ BTインジケーターが点滅します。




2 Bluetoothデバイスで、Bluetoothをオンに切替えて、**Philips TAB5706**を検索・選択し接続を開始します。(Bluetoothを有効にする方法については、Bluetoothデバイスの取扱説明書を参照してください)。

↳ 接続の間、BTインジケーターが点滅します。


3 サウンドバーから音声プロンプトが聞こえるまで待ちます。

↳ 接続に成功すると、BTインジケーターが点灯します。

4 Bluetoothデバイスでオーディオファイルまたは音楽を選択して再生します。

- 再生中に電話がかかってきたときは、音楽の生を一時停止します。通話が終了すると再生が再開します。
- BluetoothデバイスがAVRCPプロファイルをサポートしている場合は、リモコンを押して  / 、トラックにスキップしたり、 再生を一時停止/再開したり出来ます。

5 Bluetoothを終了するには、次の操作を行います。

- 本体を別のソースに切替える。
- Bluetooth対応デバイスの機能を無効にする。または、Bluetoothデバイスを最大の動作範囲から外します。音声プロンプトの後、本体からBluetooth機器の接続が切断されます。
- リモコンの **BT/Pair** ボタンまたは本体の  ボタンを押したままにします。

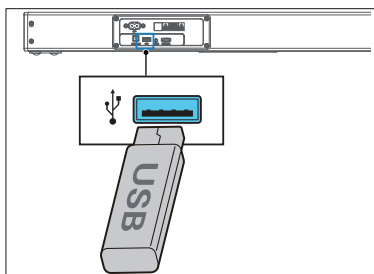
ヒント


- 音楽ストリーミングは、デバイスとサウンドバーの間の壁、デバイスを覆う金属製の筐体、または近くで同じ周波数で動作する他のデバイスなどの障害物によって停止する場合があります。
- サウンドバーを別のBluetoothデバイスに接続する場合は、リモコンの **BT/Pair** キーを押したままにして、現在接続されているBluetoothデバイスを切断します。

USB操作方法

MP3プレーヤーやUSBフラッシュメモリなどのUSBストレージデバイスでオーディオをお楽しみいただけます。




1 USB デバイスを挿入



2 本体の  ボタンを繰り返し押すか、リモコンの **USB** ボタンを押して、**USB** モードを選択します。

↳ [AUX/USB] LEDインジケータが白色に点滅。

3 再生の間:

ボタン	アクション
	スタート、一時停止もしくは再生開始
	前のトラックまでスキップ
	次のトラックへスキップ

ヒント

- ・ USBストレージデバイスタイプによっては、本製品に対応していない場合があります。
- ・ お客さまがUSB拡張ケーブル、USBハブ、またはUSB多機能カードリーダーを使用している場合は、USBストレージデバイスが認識されないことがあります。
- ・ ファイルの読み取り中に、USBストレージデバイスを取り外さないでください。
- ・ 本機器は、最大32 GBのメモリを備えたUSBデバイスをサポートできます。
- ・ 本機器はMP3/WAV/WMAを再生することができます。
- ・ USB ポートのサポート: 5V === 500mA.

AUX / OPTICAL / HDMI ARC 操作

本体が、テレビまたはオーディオデバイスに接続されていることを確認します。

1 本体のボタンを繰り返し押すか、リモコンの**AUX**、**OPTICAL**、**HDMI ARC** ボタンを押して、 ご希望のモードを選択します。

↳ サウンドバーのインジケータライトは現在使用中のモードが表示されます。

ステータス	LED状態
AUX	[AUX/USB] 完全な 白色
OPTICAL	[OPTICAL] 完全な 白色
HDMI ARC	[HDMI ARC] 完全な 白色

2 再生機能を使用するには、オーディオデバイスを直接操作します。

3 +/- (音量) ボタンを押して、ご希望のレベルまで音量を調節します。

ヒント

- ・ OPTICAL/HDMI ARCモードの間、本体からの音声出力がなく、ステータスインジケータが点滅する場合は、ソースデバイスで **PCM** または **Dolby Digital** の信号出力を有効にする必要があります (例TV、DVD、Blu-rayプレーヤー)。

5 製品仕様書

注

- 仕様およびデザインは予告なく変更されることがあります。

Bluetooth

- Bluetooth プロファイル:A2DP, AVRCP
- Bluetooth バージョン:4.2 + EDR
- 周波数帯域/出力電力:2400MHz ~ 2483.5MHz / $\leq 5\text{dBm}$

アンプセクション

- 電源出力 (定格):100W RMS @10% THD, 200W max

本体

- 電力供給:100-240V~ 50/60Hz
- 消費電力:30W
- スタンバイ消費:< 0.5 W
- USB:5V = 500mA
- 周波数応答:40Hz - 20KHz
- オーディオ入力感度:500mV
- スピーカーのインピーダンス: $8\Omega \times 2 + 4\Omega$
- 寸法 (W x H x D):700 x 70 x 120 mm
- 重量:2.5kg
- 動作時温度: $0^{\circ}\text{C} - 45^{\circ}\text{C}$

リモコン

- 距離/角度:6m / 30°
- バッテリータイプ:AAA (1.5V X 2)

オーディオサポート形式

- HDMI ARC**
Dolby Digital, Dolby Digital plus, LPCM 2ch
- OPTICAL**
Dolby Digital, LPCM 2ch
- BLUETOOTH**
SBC
- USB**
MP3, WAV, WMA

6 トラブルシューティング

警告

- ・ 感電のリスク本製品の枠組は絶対に取り外さないでください。

品質保証の有効を保つために、お客さま自身での製品修理はお控えください。本製品ご使用に支障がある場合は、次の点をご確認の上、お問い合わせください。問題が解決されない場合は www.philips.com/support のサポートをご利用ください。

本体

本体のボタンが機能しない。

- ・ 電源装置から取り外して数分間待ってから、もう一度接続してください。

電源が入らない。

- ・ ACコードが正しく接続されていることをご確認ください。
- ・ ACコンセントに電力が供給されているかご確認をお願い致します。
- ・ リモコンやサウンドバーのスタンバイボタンを押して、サウンドバーをオンにします。

サウンド

サウンドバーのスピーカーから音が聞こえない。

- ・ オーディオケーブルをサウンドバーからテレビや他のデバイスに接続してください。ただし、次の場合は、個別のオーディオ接続は必要ありません。
 - サウンドバーとテレビをHDMI ARC 接続で接続するか、
 - デバイスをサウンドバーのHDMI IN コネクタに接続します。

- ・ リモコンで、適切なオーディオ入力を選択します。
- ・ サウンドバーがミュート状態ではないことをご確認ください。

Bluetooth

デバイスをサウンドバーに接続できない。

- ・ ご使用のデバイスは、サウンドバーに必要な互換性のあるプロファイルをサポートしていません。
- ・ お客さまのデバイスのBluetooth機能が有効になっていません。設定方法については、ご使用の機器に取扱説明書を参照してください。
- ・ デバイスが正しく接続されていません。適切にデバイスを接続してください。
- ・ サウンドバーが、別のBluetoothデバイスに既に接続されています。接続されているデバイスを切断してから、再度行ってください。

接続されているBluetoothデバイスからのオーディオ再生の音声品質が低い。

- ・ Bluetoothの受信状態が悪い。デバイスをサウンドバーに近づけるか、デバイスとサウンドバーの間にある障害物を取り除きます。

Bluetoothデバイスでこの装置のBluetooth名が見つからない

- ・ BluetoothデバイスでBluetooth機能がアクティブになっていることをご確認ください。
- ・ Bluetoothデバイスと装置をペアリングし直します。

リモコンが作動しない。

- ・ 再生コントロールボタンを押す前に、最初に適切なソースを選択します。
- ・ リモコンと本体の間の距離を狭めてください。
- ・ バッテリーの極性 (+/-) を図のように揃えて挿入します。
- ・ バッテリー交換を行ってみてください。
- ・ リモコンを本体正面のセンサーに向けます。

こちらは、省電力のためのERP II標準要件の一つ、15分間の電源オフ機能です。

- ・ 本体の外部入力信号レベルが低すぎる場合、15分後に自動的にオフになります。お客さまの外部デバイスの音量を上げてください。

商標：

HDMITM
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMI Logo という用語は、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

 **Dolby Audio**

Dolby Laboratories のライセンスの元、製造されています。Dolby、Dolby Audio、および double-D symbol は、Dolby Laboratories Licensing Corporationの商標です。

 **Bluetooth**[®]

Bluetooth[®]のワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有する登録商標であり、飛生(香港)控股有限公司(MMD Hong Kong Holding Limited)によるこの商標のいかなる使用もその許可を得ていません。他の商標および商標名は各所有者に属します。



仕様は予告なく変更されることがあります。

最新のアップデートと文書についてはwww.philips.com/supportをご覧ください。

Philips および Philips Shield Emblem はKoninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスの元、使用されています。本製品は、MMD Hong Kong Holding Limitedまたはその関連会社の責任において製造および販売されており、製品に関する保証はMMD Hong Kong Holding Limitedが行っています。

